



センターWebページへ

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果

ハイライト:

今年度もたくさんの講座を実施しておりますが、本号では、「今年度の注目講座!」「講座紹介・受講者の声」を紹介しています。まだ追加申込み可能な講座もありますので、多くの方の申込みをお待ちしております。

目次:

研修講座の状況	2
今年度の注目講座!	2
講座紹介・受講者の声	3
ストリーミング動画配信サービスの紹介	4
カリキュラムセンター紹介	4
センターからのお知らせ	4

青森県総合学校教育センター

センターだより

所長挨拶 「サポート（支援）に徹する」

本年4月に青森県総合学校教育センター所長を拝命した白石司です。「センターだより」Web版にアクセスいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

当センターは、八甲田山の麓、岩木山を遠くに仰ぎ、隣地の青森市スポーツ公園には、野球場、テニスコート等のスポーツエリア、大型遊具や水に親しめるわくわく広場、観察湿地や埋没林の丘等の埋没林広場が整備され、ヨシキリ、郭公、雉等の鳴き声が響く、自然豊かな場所にある。

青森県総合学校教育センター
所長 白石 司

この恵まれた環境の地で、教職員のための研修講座、教育課程・教科教育等の研究、教育相談等の業務に加え、指導主事等の人的資源、蓄積してきた情報資源を、広く教職員に活用いただけるよう、資料の提供、教科指導等の相談窓口事業、学校等支援講師派遣事業を行っている。

これまでほぼ毎日センター内を一巡りしているが、最近は、扉が開いているなど拝見できる講座は迷惑にならないよう気遣いつつ様子を伺っている。何よりも受講者の様子が気になる。ほとんどの場合後ろから伺うことになるのだが、今まで一人として参加していないと思われる受講者はいない。受講者の研修に取り組む姿勢から、子供たちのために少しでも学びたいという思いを感じる。「受講者が一生懸命ですね。」と講座担当指導主事に声をかけた。「先生方の笑顔を見ることが一番です」額に汗しながらの答えが返ってきた。

受講者の思い、担当者の思いがさらなる高まりを秘め、子供たちに向かう。さわやかな会話の中に教師の根源に触れたような思いがした。

日常の一場面ではあるが、本当に有り難いことだと思う。このような触れあいを多くの皆さんに味わってもらいたい。そして得た活力を子どもたちに向かうエネルギーにしてもらいたい。そんな願いを込め、さらに利活用される学校教育センターを目指し、努めて参ります。

平成24年度 研修講座の状況

【平成24年度研修講座】

当センターでは、青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行っています。研修は、「基本研修（初任者研修・新規採用者研修・経験者研修）」「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」「特別研修」と体系化して構築しており、今年度の全講座数は198（開講数は196）となっています。

研修講座の構築に当たっては、喫緊の教育課題の解決を支援することはもちろん、受講者のニーズやライフステージに合わせ、先生方が受講して良かったと思えるような講座にするため、講座内容の評価・見直しをし、改善を図りました。

【追加申込みにについて】

「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」において、講座開始日の1か月前まで、追加申込みを受け付けています。希望する講座があれば、講座担当者まで、まずは電話連絡をお願いします。なお、追加申込みを受け付けている講座は、当センターのWebページの「追加申込み可能な講座」に掲載してあります。

【平成24年度研修講座申込状況】(延べ数)

研修体系	講座数	申込者数
基本研修	62	2637
初任者研修	34	1598
新規採用者研修	11	79
教職経験5年研修	8	207
10年経験者研修	9	753
職務研修	20	805
専門研修	109	2466
教科研修	57	906
教科外研修	52	1560
特別研修	5	32
合 計	196	5940

(7/2現在)

今年度の注目講座！

「講座番号202

小・中学校国語科言語文化指導講座～古典と書写へのアプローチ～
10/4～10/5開催

これまで国語科の講座は領域別に編成されていましたが、今年度から担当教員の技能や経験に応じて受講できるような編成になりました。特にこの講座は、国語科教育における喫緊の課題の一つである「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導力向上を目指し、古典の指導と書写の指導にスポットを当てた内容になっています。

子どもたちがわが国の言語文化に触れ、豊かな感性や情緒をはぐくむことができるよう、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の基本的な指導について研修し、担当教員の資質の向上を図ることをねらいとしています。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は学習指導要領改訂における重点項目の一つであり、特に小学校においては新たな取組が求められています。古典の指導と書写の指導を中心に、小学校における系統性、中学校での取組の変化、小・中学校間の接続について意図的に取り上げていきます。

さらに、県外講師による専門的な立場からの講義を通して、国語教育の不易流行の面から質の向上を図ることが期待される講座内容になっています…。

「講座番号601教育相談Ⅰ～604教育相談Ⅳ」

教育相談課では時代の変化・受講者の要望等を十分考慮した結果、今年度からこれまで実施していた教育相談「初級」「中級」「上級」という枠組みをはずすことにしました。それにともない講座のステップアップ方式を廃止しました。つまり、これまで中級・上級講座にあった受講資格をなくすることにより、フラット方式とし自分に必要なスキルを得るため、自由に教育相談Ⅰ～Ⅳを選択できるようになりました。また、教育相談の3講座を4講座に分割することにより、よりきめ細やかで充実した講座内容とすることができました。また、教育相談長期研修講座はこれまで、教育相談「上級」を終了した者を対象にしておりましたが、来年度から「上級」終了または、教育相談担当講座を3講座終了した者と変更しています。

「講座番号 382 高等学校英語指導法実践講座」 6/14～6/15開催

本講座は、平成25年度年次進行で実施される新学習指導要領に対応した授業のために、高等学校英語科教員の言語活動の実践的指導法を向上させていくことを目的として開催されました。

1日目の午前中は、当センターのALTカイル・シュマイン先生から、生徒の緊張感をほぐすための「アイスブレイキング活動」が紹介されました。その後は、参加者が持ち寄った授業を活性化するための言語活動のワークシートについて、発表と意見交換が行われました。

1日目の午後から、2日目にかけて、神田外語大学のティム・マーフィー教授により、「聞いたことに基づいて話すことの指導」、「読んだことに基づいて書くことの指導」と題して講義と演習が行われました。ペアワークにより英語表現を繰り返させて定着させる方法が、英語を苦手とする生徒でも授業に引きつけ、授業の様々な場面で活用できると、受講者から好評を得ました。

◆受講者の声

- ・生徒の気持ちになって取り組みました。ティム先生の言葉が、とてもあたたかく、講義を受けられてよかった。
- ・改めて、ペア・ワークは効果的だと思います。音楽を聞いたり、DVDを見たりして、あまり緊張せず、講義に参加することができました。同じことを繰り返し話したり質問するのは定着も早く、学校で実践しようと思います。
- ・体を使って覚えること、歌って定着させることの良さが身にしました。

「講座番号 507 地域資源を発掘！魅力ある地域創造講座」 6/26～6/27開催

本講座は、地域資源の発掘や地域の価値を高める知識や手法を学び、専門教科（農業・工業・商業・家庭など）に携わる教員が地域産業の担い手を育成する実践的な指導力の向上を図ることを目的に、今年度から新規に開催されました。

「地域の魅力とは」ありのままの暮らしそのものであり、
地域の人はそれが貴重な文化・魅力だと気付いていない、
「息をしている」くらいごく当たり前のことであるということ。

講師として、ビズデザイン株式会社代表取締役 木村乃氏をお招きし、「魅力ある地域とは」というテーマで講義して頂きました。講義では、「日常では話題にならないようなこと」に気付かされ、「地域の魅力」に目覚めさせられた瞬間でした。講義後のグループ演習では、地域の魅力を伝えるプロモーション企画の考察とポスター制作、発表会に向け、専門分野の知恵を融合させた活発な意見交換がなされました。研修後、全ての受講者から、魅力ある地域づくりの担い手を育成するために、下記の5点を考慮しながら指導していきたいと積極的な意見が寄せられました。

地域の文化（暮らしぶり）に価値や意味があることを知らせること
“旅人”の視点をもつことの大切さを伝えること
普通の感性をもたせること
統計（社会の動きを数字で把握）への関心を持たせること
伝えたいことを物語としてストーリー性を持たせること

※当センターWebページでは、今年度実施した講座の様子を随時紹介しています。そちらも是非ご覧ください。

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果



講座番号 382 ティム・マーフィー教授による演習の様子



講座番号 507 木村乃氏による講義の様子



ストーリーミング動画配信サービスの紹介

今年度は7件の講義（食育1件、教科教育2件、教育相談3件、情報教育1件）の様子を配信する予定です。（既に2件は配信済み）昨年度は視聴者数が120アクセスを超える講義もございました。今年度はこの7件の講義のうち、講師から公開の承諾が得られた5件の講義についてはオンデマンドストーリーミング配信（ライブラリ化していつでも視聴できる）する予定です。詳しい配信内容については下記の一覧表をご覧ください。

No	講座名	所属名	講師名	講義題	配信日	オンデマンド対象
1	学校給食主任等研修講座	青森中央短期大学講師	木村 亜希子	食の自立のために	2012/6/5 (火)	
2	生徒指導担当者研修講座	町田市教育センター教育アドバイザー	山本 修司	生徒指導と教育相談	2012/6/6 (水)	○
3	高等学校情報科教育講座	東京工業大学大学院准教授	松田 稔樹	教科「情報」の課題と学習指導要領の改訂	2012/9/3 (月)	○
4	高等学校数学科教育講座[授業力向上]	静岡大学教授	熊倉 啓之	新学習指導要領における数学的活動と課題学習	2012/9/4 (火)	○
5	自立への基礎を養う生活科講座	早稲田大学教授	藤井 千春	自立への基礎を養う	2012/9/13 (木)	○
6	教育相談Ⅲ	奈良教育大学准教授	粕谷 貴志	学級経営に生かす心理検査	2012/9/21 (金)	
7	保護者とのよりよい信頼関係づくり研修講座	明治大学教授	諸富 祥彦	保護者理解と信頼関係を築くための対応	2012/10/10 (水)	○

ライブストーリーミング配信の実施については、事前にメーリングリストと、当センタートップページの「新着情報」でご案内を差し上げております。今後もライブストーリーミング配信を通じて、教育現場で活用できる最新の話題を提供できますようサービスを継続していきますので、どうぞご視聴ください。

カリキュラムセンター紹介

カリキュラムセンター委員会では、学校支援のための事業とセンター2階「カリキュラムセンター・図書資料室」の管理・運営を担当しています。

学校支援の事業としては、2つの事業があります。

一つ目は、「学校等支援講師派遣事業」です。この事業は、学校の校内研修や教育機関などが主催する教員などを対象とする研修会に、講師として指導主事等を派遣する事業です。

二つ目は「教科指導等の相談窓口事業」です。この事業は県内の教職員からの教科指導等の疑問・質問に対して、速やかで的確な情報提供などを通じ、教職員の教育活動を支援する事業です。

これらの事業の詳細は、当センターWebページ、カリキュラムセンターの項目をクリックしてご覧ください。

また「カリキュラムセンター・図書資料室」では、情報をより検索しやすくし、サービスを向上させるため、図書管理システム「りいぶる」を導入しております。図書の貸出には利用者カードが必要となりますので、来室の際に図書資料室担当までお申し出ください。当センターWebページカリキュラムセンター「図書資料室の案内(PDF)」－「県内教職員利用者カード発行申込書」に事前に記入してお持ちいただくことも可能です。

また、新着図書の一覧とセンターが所有する平成23年度の教育資料（各研究機関・大学等の研究紀要等）の目録は、当センターWebページ「お知らせ」からご覧いただけます。

～センターからのお知らせ～

台風が接近し災害等が予想される場合には、開催予定の講座を取りやめることがあります。

講座を取りやめる際には、講座開催の前日あるいは当日朝7時までに、下記の当センターホームページの新着情報にその旨掲載します
ので、必ず確認してくださるようお願いいたします。

学校教育センターURL：<http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

携帯電話URL：<http://www.edu-c.pref.aomori.jp/mobile/>

(QRコード)→



トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果



「カリキュラムセンター・図書資料室」